

# ◇ 令和5年度 指定管理者事業評価書

施設名	老上まちづくりセンター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	17,741,320円	/	17,116,715円	消耗品費がSSD取付の為、膨らんだ以外は、ほぼ予算内で収まった。修繕費は、追加措置頂いた。	地域のまちづくり推進に関わる場、および学びの場とすべく施設の運用に努める
施設HPアドレス	<a href="http://www.machikyou.jp/oikami/">http://www.machikyou.jp/oikami/</a>		2年目	17,739,000円		17,125,173円	センター閉館の影響もあり、賃借料・使用料ならびに消耗品費が減少した。	地域のまちづくり推進に関わる場、および学びの場とすべく施設の運用に努める
指定管理者名	老上学区まちづくり協議会		3年目	17,872,000円		16,900,590円	年度当初、職員体制が十分確保できなかったため、人件費で大幅な差が出た。夜の貸館が増えたため、シルバーへの委託料が増えた。	地域のまちづくり推進に関わる場、および学びの場とすべく施設の運用に努める
指定期間	令和2年4月1日	～ 令和7年3月31日	4年目	17,872,750円		17,652,845円	8月より公用車をリースしたことにより賃借料が増え、今後同じような予算建てが必要。水道光熱費が予算より大幅に下回った。	地域のまちづくり推進に関わる場、および学びの場とすべく施設の運用に努める
評価対象期間	令和5年4月1日	～ 令和6年3月31日	5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
2	☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1		評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成29年4月1日
指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

## ◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
<b>年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)</b>		<b>事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)</b>	
コロナ感染症の5類への移行や、駅前の宅地開発による大幅な人口増を踏まえ、地域ニーズを把握しながら、利用者増へ向け必要な対応に努める。 昨年度のセンター外壁工事が完了し、特に大会議室雨漏りへの心配事は解消したが、センター内部の各所の老朽化に伴う不都合が発生した場合、早めに対応を心がける。		地域の特色に合わせた事業展開を行い、センターの利用者増加に繋がられた。 また、ラインでの情報発信にも注力され、地域での活動を様々な人に知っていただくことができた。 職員研修も多く実施され、職員の資質向上にも努められた。 今後もよりよい施設運営に努められたい。	
<b>事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)</b>		<b>公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証</b>	
センターの老朽化に伴う様々な利用者からの声を反映し、今年度の予算内での実施が難しかった和室の畳の表替えを来年度行う予定で業者に依頼をしている。ほかにもサロン室をより利用しやすくするために、次年度に模様替えを検討中。限られた予算内で、どの程度利用者の声を反映出来るか、今後の課題だと考えている。		(応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等)) 地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が知見と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外にはなく、非公募による選定とした。 (利用者数の状況等) 地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないことから、使用料制としておりますが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけるよう努めていただいた。	

◇施設に係る主な指定管理業務
・地域まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること。 ・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

貸館等に関する業務				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	★★★★	上半期評価	★★★★
	定期的な貸館申請が必要な団体の対応について、諸事情による申請漏れなどが利用日以前に散見された場合、電話等によって利用確認を行い、申請が必要な団体においては、手続きを行っていただくなど、規程に沿った貸館業務ができるよう努めた。		仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適正に実施された。 貸館業務においてイレギュラーな対応が求められる場合においても、引き続き臨機応変な対応を期待する。	
	下半期評価	★★★★	下半期評価	★★★★
自主教室や他の減免申請が可能な団体の貸館申請は、つい都度の申請を忘れがちになるが、当方の台帳管理の時点で申請が出来ていないところには、連絡の上、借館が出来るよう気をつけている。また、当まち協の事業等で、当初の仮予約を変更頂く事が無いように、まち協事業や、センター事業の日程調整には、気をつけている。	上半期に引き続き仕様書等に定める基準を遵守し、利用者との問題もなく適正に実施された。 今後も貸館申請にかかる事務について、丁寧な対応を期待する。			

施設および備品の維持管理等				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	★★★★	上半期評価	★★★★
	必要備品の管理について、在庫管理や使用状況を把握するなどして適切に管理することができた。清掃業務は、夜間管理を委託している業者とも情報を共有することで適切に対処することができた。		仕様書等に定める基準を遵守しながら、事故なく安全な施設管理に努められた。 今後も引き続き、夜間管理を委託している業者と情報共有を行い、より良い施設管理を行っていただきたい。	
	下半期評価	★★★★	下半期評価	★★★★
必要な備品が、必要な時に品切れとならないように、事前に在庫管理を行い、適切な管理に努めた。また、消火器や、他の備品等の使用期限にも配慮し、期限切れのものについては、都度交換を行った。	上半期に引き続き、仕様書等に定める基準を遵守し、事故なく安全な施設管理を行われた。 今後も定期的に、備品の使用期限をチェックいただき、適切な管理に努められたい。			

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務の基準				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	★★★★	上半期評価	★★★★
	公式LINEの登録者が増え、発信数も増えたことから、今までの契約をスタンダードプランに変更し、今後も積極的に公式LINEを活用できるようにした。駅前マンションや、まち協非加入の町内会へも情報を届けられるよう対応した。		公式LINEの活用により効果的な情報発信に努められている。 引き続き仕様書の基準を遵守して地域ニーズに応じた講座・講演・イベントの開催や市政情報の発信を実施されたい。	
	下半期評価	★★★★	下半期評価	★★★★
事業内容のお知らせや変更等、出来るだけLINEでの発信を行うことで、双方の負担が軽減できるよう積極的にLINEを活用した。また、ボランティアのおいかめちゃん委員会が当協議会のキャラクター「おいかめちゃん」のLINEスタンプを作成し、販売にこぎつけた。今後もおいかめちゃんを中心に、老上の事業や啓発活動を行っていききたい。	上半期に引き続き、仕様書等に定められた基準を遵守し、業務を実施された。 また、まち協未加入町内会等にもLINEを活用して情報発信に努めていただいた。 引き続き、「おいかめちゃん」をデジタルで発信することで、地域住民の地域への愛着醸成に繋げていただきたい。			

経営管理に関する業務				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	★★★★	上半期評価	★★★★
	学区内に新規出店したルビットパーク内の無印良品と共催事業を実施することができた。学区内への転入者も含め、多くの関係者のコーディネイター的な視点で、活動の幅を広げていく。		仕様書等に定められた基準を遵守し、職員の配置など適正な経営管理などに努められた。 引き続き組織の管理運営に加え地域との連携に努められたい。	
	下半期評価	★★★★	下半期評価	★★★★
10月に行われたハロウィン事業では、まちづくりセンターを利用される方を中心に声掛けを行い、多くのボランティアの参加を得て無事業を実施する事ができた。地域の出来事や事業に関心をもって頂いた一つの表れかと捉えている。	上半期に引き続き、仕様書等に定められた基準を遵守し、職員の配置など適正な経営管理に努められた。 ハロウィン事業で多くのボランティアに参加いただけたのは、日頃から情報発信を行い、活動を知ってもらえるように努力された結果だと感じる。			